

北海道美唄尚栄高等学校の行動計画(グローカル・アグリハイスクール宣言 Part II)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローカル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 農業技術検定等の資格取得学習を通して、食と農に関わる知識・理解を深めると共に進路実現を目指す。	A	(1) 資格取得の充実を図るための教材開発をする。
	2 「世界と日本をつなぐグローカル教育」を行います。	(1) 環境問題等の学習に取り組み、食と農、環境のつながりを理解させる学習に取り組む。	A	(1) SDGsを意識させるための授業や実験・実習を通して、グローカルな教育を実践する。
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 地域の農産物を、積極的に地産地消する取組を通して、食の大切さを伝える学習を行う。	A	(1) 課題解決学習において、研究活動、販売活動に参加し、地域の方々と交流する。
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 地域の連携学習に積極的に参加し、地域産業の理解を深める人材育成に取組む。	A	(1) 地域を知る学習のために、先進的な取り組みをされている方々の講演等、地域の方々に積極的に教育活動に参加する事業に取組む。
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 食品廃棄物や食品ロスに関心を持ち、未利用資源の活用をする等資源の有効活用に関する人材育成を行う。	A	(1) 地域資源の有効活用に関する教育活動に取り組み、地域の将来の創造する教育取組む。
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 地域資源である農産物を、商品ブランド化することで地域振興につなげる。	A	(1) 美唄市と連携し、地域の特産物の活用に関する活動に取り組む。
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) ICTを活用し、食品製造・販売等の知識・技術等の情報が共有できるよう取組む。	A	(1) 地域交流を促進するため、ICT技術を積極的に活用した活動への取組を深化させる。
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 地震や火災等の災害に対して、防災意識を深める教育活動を実践する。	A	(1) 災害時における食について考えるなど防災意識を高めるため、1日防災学校を実施する。